

Mac[®] User's Guide

for Qio™ Professional Universal Media Reader & Writer

Qio対応、プロフェッショナル・ユニバーサル
メディアリーダー&ライター・ユーザーズガイド



Creativity Stored Here™

SONNET™
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

目次	
1 概要および製品パッケージの内容.....	1
概要	
パッケージ内容—QIO-E34	
パッケージ内容—QIO-PCIE	
2 Qio筐体の説明.....	2
3 ソフトウェア/ハードウェアインストール手順.....	3
A — ソフトウェアのダウンロード手順	
B — ソフトウェアのインストール手順	
C —Express Bus Extender PCIeインストール手順	
4 Qioの接続.....	4
Thunderboltポート搭載MacBook Proノートブックコンピュータと接続	
Thunderboltポート未搭載MacBook Proノートブックコンピュータと接続	
Mac Proと接続	
5 メモリーカードとアダプタカードの使用方法.....	6
カードの挿入と取り出し	
対応カード一覧	
SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し	
P2メディア、CardBusアダプタの挿入と取り出し	
CF (CompactFlash) カードの挿入と取り出し	
Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用	
SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ	
6 eSATA経由で接続されたドライブのフォーマット.....	7
Mac OS Xドライブフォーマット—RAIDセット	
Mac OS Xでのドライブのフォーマット—個々のドライブとして使う場合 (RAIDではないドライブの場合)	
7 役立つ情報と既知の問題.....	9
役立つ情報	
既知の問題	
8 技術情報、諸注意、製品保証、サポート情報.....	10
技術情報	
安全上の注意	
FCC 準拠	
カスタマーサービスへのお問い合わせ	

第1章：概要と製品パッケージ内容

はじめに

Qioは、ユニバーサルメディアリーダー&ライター、eSATAホストコントローラ、また、ExpressCard/34およびCardBusアダプタカードに対応の拡張用シャーシです。Qioには、Sonnet Express Bus Extender PCIe アダプタカード（デスクトップコンピュータ対応）、またはSonnet Express Bus Extender ExpressCard®/34アダプタ（ノートブックコンピュータ対応）が付属。いずれのアダプタカード製品も、単体製品として別売しています。

Qioでは、SxS™、P2、CompactFlash®メモリーカードスロットを各2基搭載、カードとカード間、カードとコンピュータ間、或いはカードと接続されたドライブとの間でのデータ転送が可能、そしてカード2枚以上使用時においてデータの同時転送が可能です。ExpressCard/34アダプタ（別売）を使用しますとMemory Stick™ MMC、SD、xD-Picture Card™メモリーカードの読み/書きを QioのどちらのSxSスロットからも行えます。

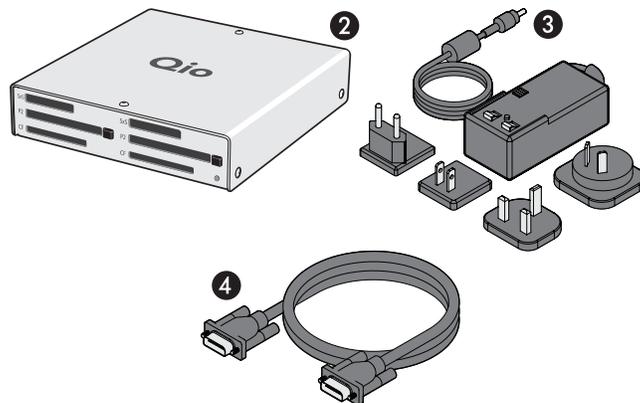
QioのeSATAコントローラはSonnet Tempo™ SATA E4Pホストコントローラをベースに設計されており、同じ性能とドライバを使用します。ポートマルチプライヤ、ハードウェアRAIDコントローラに対応、ドライブ最大16台（ドライブ筐体4台接続時）サポートします。

QioのSxSスロットはExpressCard/34アダプタカードに対応、また、P2スロットはCardBusアダプタカードに対応。互換性のあるアダプタの種類として、eSATA、FireWire®、Gigabit Ethernet、SmartCardリーダー、TVチューナー、USB、WiFi®、WWANモデム他が含まれます。アダプタカードとメモリーカードは同時に使用できませんが、使用するコンピュータのPCI Express®バスの帯域幅が不十分ですとパフォーマンスが制限されることがあります。

効率的に手順を進めるため、ぜひ本ユーザガイドに目を通してからQioの使用を開始してください。

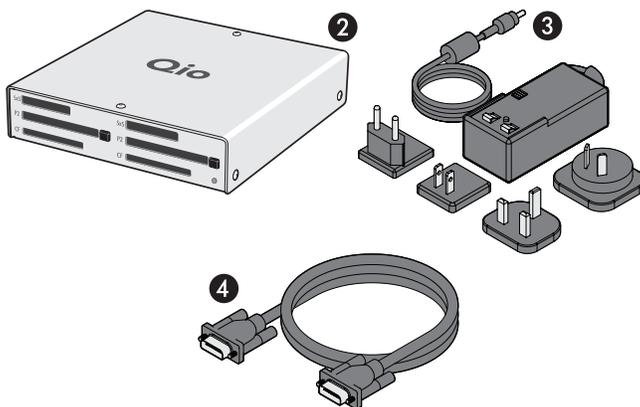
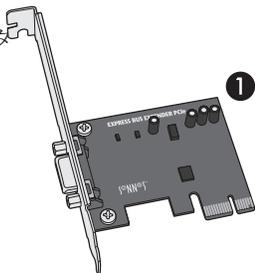
パッケージ内容—QIO-E34

- 1 - Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34 アダプタ
- 2 - Qioユニバーサルプロフェッショナルメディアリーダー/ライター（筐体）
- 3 - キャリングケース
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル



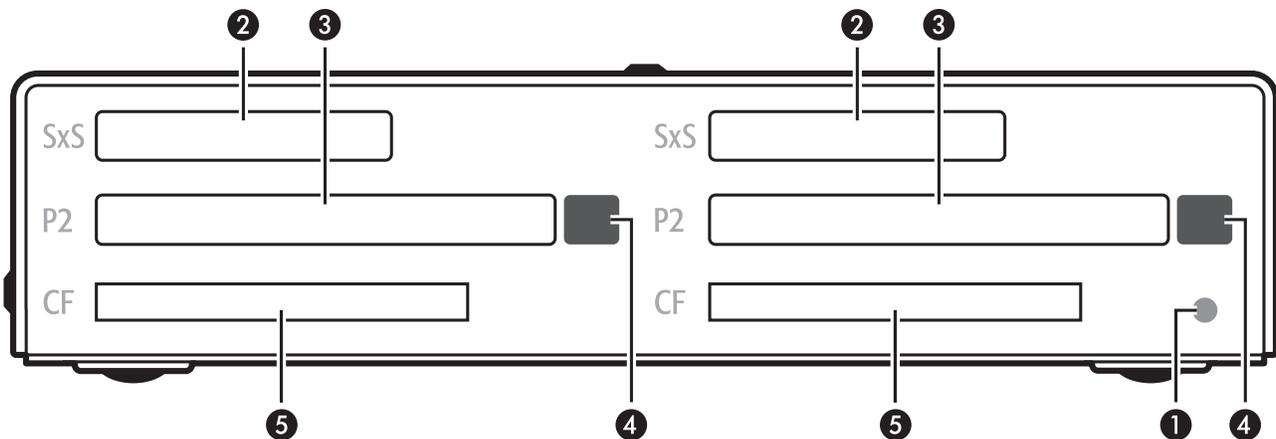
パッケージ内容—QIO-PCIE

- 1 - Sonnet Express Bus Extender PCIe アダプタカード
- 2 - Qioユニバーサルプロフェッショナルメディアリーダー/ライター（筐体）
- 3 - キャリングケース
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル



* ExpressCard/34 メモリーカードアダプタはOS X 10.8.5まで対応、OS X 10.9以降に未対応です。

第2章 : Qio筐体の説明



1 - 電源インジケータLED

インジケータはQioの電源と接続されている場合点灯します。Sonnetアダプタカードはスロットに適切にインストールされ、接続したPCIeケーブルが双方ときちんと接続されている場合は、コンピュータ側は電源供給がされています。

2 - SxS メディアスロット

これらのスロットでは、SxSメモリーカード、ExpressCard/34アダプタカードのいずれも使用可能です。ExpressCard/34アダプタ (別売) を使用しますと Memory Stick、SDXC、SDHC、SD、MMC、xD-Pictureメモリーカードの使用が可能になります。

3 - P2メディアスロット

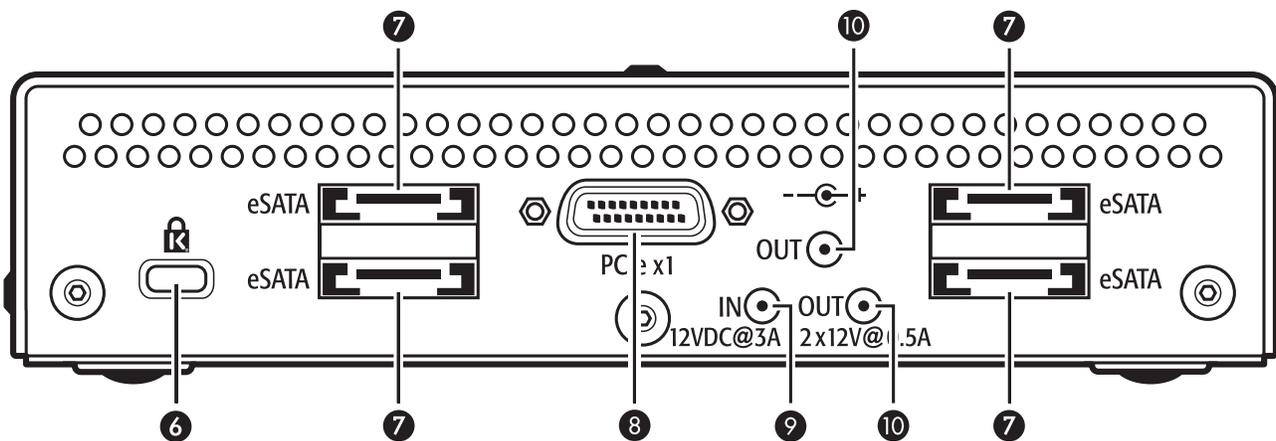
これらのスロットでは、P2メモリーカード、CardBusアダプタカードのいずれも使用可能です。

4 - P2メディアスロットの取り出し (イジェクト) ボタン

これらのボタンを押すとP2スロットからカードが取り出されます。

5 - CF (CompactFlash) カードスロット

これらのスロットではType I CFメモリーカードを使用可能です。QioはType II (Microdrive等、厚さが5mm規格) CFカードには対応していません。



6 - セキュリティスロット

このスロットはKensington®社ブランドおよび類似するセキュリティロック製品に対応しており、Qio筐体を保護するとともに盗難を抑止します。

7 - eSATAポート

このポートはeSATAデータケーブルを接続します。各ポートは、個々のドライブまたはeSATAインターフェース 筐体に搭載の最大4台までのSATAハードディスクドライブ (またはSSD)、ポートマルチプライヤ、内蔵ハードウェアRAIDコントローラに対応します。

8 - PCIe x1コネクタ

Qio筐体とコンピュータのPCIeバス拡張カードの接続時、このコネクタを付属のインターフェースケーブルの一端と接続します。

9- 12VDC入力ソケット

付属のAC電源アダプタケーブルまたは別途用意したXLR電源アダプタケーブルのいずれかを接続し、Qio筐体に電源を供給します。

10 - 12VDC 出力ソケット

このソケットから、接続したSonnet Fusion™ F2ドライブ2基RAID SATAストレージシステムに電源を供給します。電源の入力ケーブルをここへ接続しないよう注意してください。

第3章:ソフトウェア/ハードウェアインストール手順

A – ソフトウェアのダウンロード手順



警告 : 最初にQio対応ソフトウェアのインストールを行ってください。ソフトウェアのインストール前にQioをコンピュータへ接続しますと、コンピュータがクラッシュします。

Qio筐体を接続する前にドライバのインストーラを実行する必要があります。このドライバをインストールすると、QioとSATAコントローラのサポートに加え、CompactFlash、P2、SxS、メモリーカードがサポートされます。

1. インターネットへログオンします。
2. <http://www.sonnettech.com/support/kb/kb.php>へアクセスし、「**Pro Media Readers** (プロメディアリーダー)」>「**Qio**」リンクをクリックします
3. 「**Driver** (ドライバ)」リンクをクリックして「**Qio System Installer**」リンクをクリックします。「**Download Now**」ボタンをクリックし、ファイルをダウンロードします。
4. ダウンロードした「.dmg」ファイルをダブルクリックし「**Qio System x.x.x Installer**」ウィンドウが開きます。

B – ソフトウェアインストール手順

Qio筐体を接続する前にドライバのインストーラを実行する必要があります。このドライバをインストールすると、QioとSATAコントローラのサポートに加えて、CompactFlash、P2、SxS、メモリーカードがサポートされます。

1. 「**QIO System x.x.x Installer**」ウィンドウ内にある「**Qio System Installer x.x.x.pkg**」ファイルをダブルクリックしインストーラを起動します。「**Welcome to tht Qio System Installer (ようこそQio システムインストーラへ)**」というウィンドウで「**続ける (Continue)**」をクリックします。
2. 「**大切な情報**」ウィンドウでは「**続ける**」をクリックしてください。
3. 「**使用許諾契約**」ウィンドウではライセンスについて読み、「**続ける**」、続いて「**同意する**」をクリックしてください。
4. 「**標準インストール**」ウィンドウでは、インストール先を初期設定の保存先にする、または新たに保存先を指定してください。標準インストールの場合は「**インストール**」、インストールするパッケージを個別に指定する場合は「**カスタマイズ**」をクリックしてインストール項目を指定した後「**インストール**」をクリックします。
5. パスワード入力画面でパスワードを入力し「**OK**」をクリックします。
6. ドライバがインストールされる間、進行状態を表すバーが表示されます。「**インストールは正しく完了しました (Installation Completed Successfully)**」の表示になったら「**再起動**」をクリックします。
7. コンピュータの再起動プロセスが終わってから、改めてシステム終了します。QIO-PCIEを購入された場合は「Express Bus Extender PCIeインストール手順」へ進みます。それ以外の場合は次頁へ進みます。

C – Express Bus Extender PCIeインストール手順

QIO-PCIEご購入の場合、まずソフトウェアのインストールを行い、その後PCIeアダプタカードをコンピュータへ装着してください。



参考情報 : 新しくハードウェアおよびソフトウェアをインストールする際には、事前にお使いのハードドライブの重要なデータやファイルのバックアップを取っておくことをお勧めします。コンピュータ製品を取り扱う際には、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。

コンピュータ本体を開く際や製品パッケージからパーツを取り出す際には必ずポートアクセスカバーなど、コンピュータの金属部分に触れて静電気を放電するようにしてください。また、カーペットなど静電気の発生しやすい場所での作業は避けてください。カードを扱う際には、必ず角の部分を持つようにし、コネクタ部分やピンには直接触れないようご注意ください。また、ロジックボードやロジックボードの部品に触れないようご注意ください。

1. コンピュータの電源を落としていなかった場合は、電源を切ります。筐体を開き、拡張カード (PCI Expressスロット) の位置を確認してください。詳細は使用するコンピュータのユーザマニュアルを参照してください。
2. 使用するPCI Expressスロットを定めそのアクセスカバーを取り外します。
 - Mac Pro (Early 2009)、pre-2008 (2008年以前の機種)の Mac Proの場合は、どの空きスロットへも装着可能です。
 - Mac Pro (Early 2008) の場合は、スロット3、4のいずれかへ装着する必要があります。
3. Sonnetカードをパッケージから取り出し、スロットへ装着します。**カードがしっかりと装着されていることを確認します。**
4. コンピュータの筐体を元通り閉じます。
5. Mac Pro (Mid 2012、Mid 2010、Early 2009、Early 2008)へインストールした場合は、次ページ「Qioの接続」へ進んでください。

2008年以前のMac Proモデルへカードをインストールした場合は、電源を入れてください。Mac OS Xのバージョンによっては「**拡張スロットユーティリティ**」が開きます。自動的に開かない場合は、手動で起動してください (拡張スロットユーティリティは /システム/ライブラリ/CoreServicesフォルダ内にあります)。適切な設定内容を選び(このSonnetカード製品はx1カードです)、初期値の設定で良い場合は「**完了(Quit)**」を、設定内容を変更した場合は「**保存と再起動**」をクリックします。コンピュータをシステム終了します。次ページ「**Qioの接続**」へ進んでください。

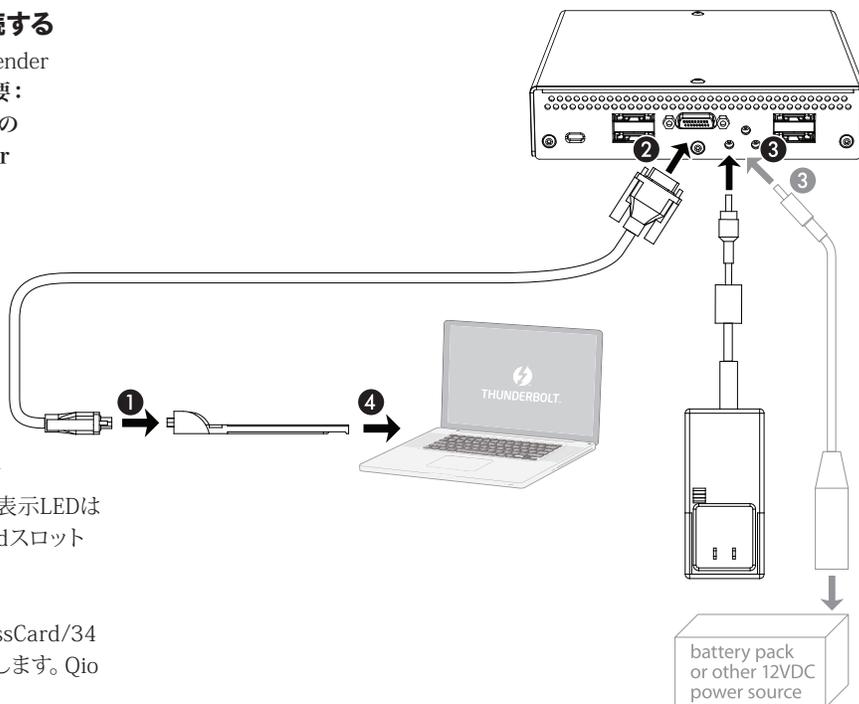
第4章：Qioの接続

QioをThunderbolt™搭載MacBook Proと接続する

コンピュータの電源を入れる前に、あらかじめPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタとQio筐体を接続してください。重要：Thunderboltポートの搭載されたMacBook Proをご使用の場合、コンピュータが起動した状態で、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続する必要があります。

ソフトウェアインストール後、次の手順通り進めてください。

1. PCIe x1 外付けインターフェースケーブルとPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をQio筐体に接続する。
3. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたは別途XLR電源ケーブルを接続します。Qioの通電表示LEDはExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットに装着されるまでは点灯しません。
4. コンピュータの電源を入れ、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ装着します。Qioの使用準備完了です。

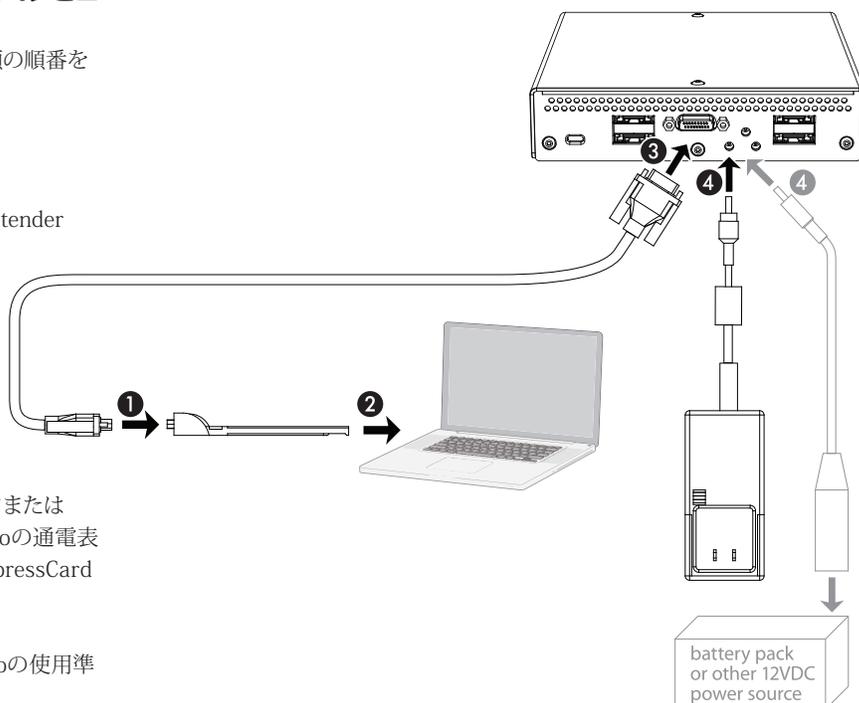


QioをThunderboltポート非搭載MacBook Proコンピュータと接続する

コンピュータの電源を入れる前に、Qio、電源を接続する手順の順番を厳守してください。

ソフトウェアインストール後、次の手順通り進めてください。

1. 外付け PCIe x1 インターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34と接続します。
2. PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ挿入します。
3. インターフェースケーブルのもう一方の端をQio筐体と接続します。
4. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたはオプションのXLR電源ケーブルをQioに接続します。Qioの通電表示LEDはExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットに装着されるまでは点灯しません。
5. コンピュータの電源を投入後少し待機してください。Qioの使用準備が完了します。



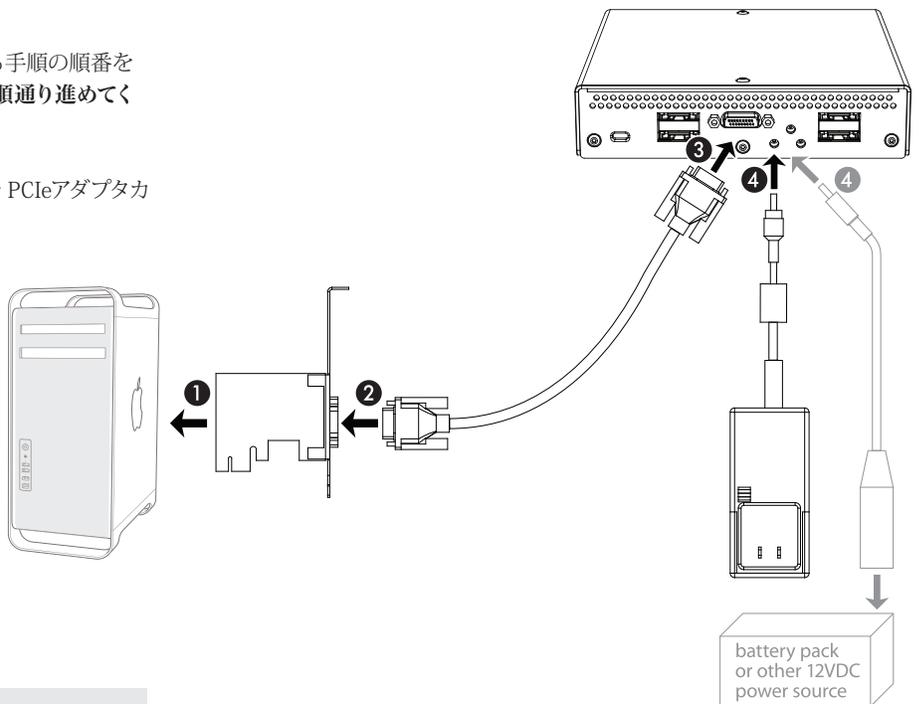
参考情報：ドライバのインストールとアダプタの装着を行い、Qio筐体と接続した後に、初めてコンピュータの電源を入れますが、この起動時(デスクトップが表示され、OSが使用可能な状態になるまでの間)に、ブルースクリーン状態にて一時停止した状態で、長時間(約4~6分間)の待ち時間が発生します。この後、デスクトップが表示されOSが使用可能な状態になります。この現象はアダプタカードをインストール後の最初の起動時のみに起こります。これ以降の起動時にこの一時停止の現象は発生しません。

第4章 : Qioの接続

QioをMac Proと接続する

コンピュータの電源を入れる前に、Qio、電源を接続する手順の順番を厳守してください。ソフトウェアインストール後、次の手順通り進めてください。

1. 前章にて記述の通り、ソフトウェアとBus Extender PCIeアダプタカードをコンピュータへインストールします。
2. PCIe x1 外付けインターフェースケーブルをコンピュータにインストールしたBus Extender PCIeアダプタカードと接続します。
3. インターフェースケーブルのもう一方の端をQio筐体と接続します。
4. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたはオプションのXLR電源ケーブルをQioに接続します。Qioの通電表示LEDはコンピュータの電源を入れるまで点灯しません。



参考情報 : ドライバのインストールとアダプタの装着を行い、Qio筐体と接続した後に、初めてコンピュータの電源を入れますが、この起動時 (デスクトップが表示され、OSが使用可能な状態になるまでの間) に、ブルースクリーン状態にて一時停止した状態で、長時間 (約4~6分間) の待ち時間が発生します。この後、デスクトップが表示されOSが使用可能な状態になります。この現象はアダプタカードをインストール後の最初の起動時のみに起こります。これ以降の起動時にこの一時停止の現象は発生しません。

第5章：メモリーカードとアダプタカードの使用

カードの装着と取り外しについて

全ての種類のカードに共通する事項

- カードはスロットに対し真っ直ぐ、Qio筐体の上側のカバーに対して平行に挿入してください。
- カードやQio筐体を破損する恐れがありますので、カードをスロットコネクタへ無理に挿入しないでください。
- メモリーカードを取り外す際、マウントされたボリュームをDockのEject（取り出し）アイコンへドラッグ、またはFinderウィンドウからイジェクト（またはアンマウント）をクリック、のいずれかを確実に行ってからカードを取り外してください。この手順が守られない場合、メモリーカード上のデータが破損することがあります。

SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し

- ケーブルとExpressCardアダプタを接続して使用する際、必ず先にケーブルをアダプタカードと接続し、その後アダプタカードをQio筐体のスロットへ装着してください。
- カードを挿入する際は、カチッと音がする所までスロット内へ押し入れてください。
- カードを取り外す際は、再びカチッと音がする所までカードを押し入れると、カードが排出されます。
- カードを取り出す際、始めにカードを中へ押し込みに引き抜くことはしないでください。次回カードをスロットへ挿入する際、すぐに排出されてしまうなど、問題が起こるおそれがあります。

P2メディア、CardBusアダプタの挿入と取り出し

- カード挿入時には、スロット内でカードが止まる所まで押し入れてください。すると、スロットの隣にあるイジェクト（取り出し）ボタンが突き出た状態となります。
- カードを取り出す場合はカードスロットの隣のイジェクトボタンを押してください。

CF (CompactFlash)カードの挿入と取り出し

- カードを挿入時、カードが止まる所までスロット内へ押し入れます。
- カードを取り出すには、スロットから真っ直ぐカードを引き出します。

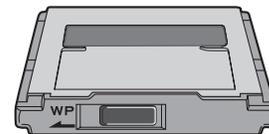
Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用

- PCIe x1外付けインターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタに接続した後、そのアダプタカードをコンピュータのExpressCardスロットへ接続してください。
- コンピュータの電源がオフになっている場合を除き、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータから取り外さないでください。
- MacBook ProにThunderboltポート未搭載の場合は、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタはホットプラグ機能をサポートしません。コンピュータの電源を入れる前にあらかじめQio筐体接続のコンピュータへアダプタを装着してください。

- ケーブルMacBook ProがThunderboltポート未搭載ではない場合、PCIe Bus Extender ExpressCard/34をホットプラグ機能を使用する必要があります。コンピュータ起動後に、Qio筐体が接続されているコンピュータにこのアダプタを挿入し、Qioの電源を入れてください。この手順を行わない場合、Qioを接続したコンピュータを起動、再起動した際にQioが認識されなくなりますのでご注意ください。

SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ

SxS とP2メモリーカードには書き込み禁止スイッチが装備されています。「WP」または「PROTECT」位置に設定されている時、データの保存、編集および削除機能は使用できません。Qioの中へ挿入されている状態では、SxS、P2カードのスイッチ位置の変更を行わないでください。スイッチの位置を変更する必要がある場合は、前述の通り、カード取り出しの手順に従ってスロットからカードを取り出し、カードのスイッチの位置を変更し、その後再びスロット内へカードを挿入し直してください。



書き込み禁止スイッチの切り替えはQioスロットへカードが挿入されていない時に行ってください



第6章 : eSATA経由で接続されたドライブのフォーマット

Mac OS Xでのドライブのフォーマット—RAIDセットを構築する場合

この項では、Mac OS X Version 10.5において、ディスクユーティリティを使用しQio筐体のeSATAポートへ接続された複数ハードドライブ（またはボリューム）のフォーマット（初期化）の方法を説明します。Mac OS X Version 10.6での手順はほぼ同じです。SoftRAID 3.1以降を使用してドライブをフォーマットすることも可能ですが、この場合は該当の製品のインストールマニュアルを参照してください。



参考情報：構築した内容によっては、オペレーティングシステムにおいてSonnet Fusion D400QR5等、ハードウェアRAIDコントローラ内蔵ドライブ筐体のドライブが分割して表示されないことがあります。具体例として、RAID 0またはRAID 5コンフィギュレーションの時、「drive」という1つの単体がディスクユーティリティ上に表示されます。このケースの場合は、このページは飛ばして次ページ「Mac OS Xでのドライブフォーマット—個々のドライブとして扱う場合」にて、ドライブのフォーマット手順をお読みください。

1. コンピュータの電源を入れます。起動途中のスクリーンに、読み取れないディスクがあるという内容のメッセージウィンドウが表示されます。「初期化…」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。ディスクユーティリティの起動後、残りのメッセージウィンドウの「初期化」ボタンをクリックしてください。
2. ディスクユーティリティが起動していない場合は起動してください（図1）。フォーマット済みかどうかに関わらず、接続された全てのドライブがウィンドウに表示されます。
3. RAIDセットに組み込んで使用するドライブのうちの一つを選び、そのドライブのアイコンもしくはドライブ名をクリックして選択してください。ドライブの容量や接続のタイプ、接続IDはウィンドウ下部に表示されます。



参考情報：この項の残りの手順では、RAID 0（ストライピング）作成の方法について説明します。RAID 1（ミラーリング）セットまたはRAID 10（ストライピング／ミラーリング）セットの作成手順については、本書に記載されていませんが、RAID 0の作成方法と類似しています。詳細はディスクユーティリティのヘルプを参照してください。

Qio筐体に接続された全てのハードドライブのeSATAポートはディスクユーティリティによって内蔵接続であるとみなされます。

4. 「ディスクユーティリティ」ウィンドウの「RAID」タブをクリックし、ストライピングRAIDに組み込んで使用するドライブ全てを選択し、ディスクフィールドにドラッグします（図2）。RAIDに組み込まないドライブを誤ってドラッグしないよう万全の注意を払ってください。
5. プルダウンメニューからボリュームフォーマットとRAIDのタイプ（ストライピングRAIDセット）を選択し、「RAIDセット名」の欄にRAIDボリューム名を入力してください（図2）。「作成」ボタンをクリックします。
6. 「RAIDの作成」というウィンドウが表示されたら、「作成」ボタンをクリックします。選択した全てのドライブがフォーマットされRAIDボリュームが作成されます（図3）。「ディスクユーティリティ」を終了してください。これでドライブが使用できるようになり、インストールは完了です。

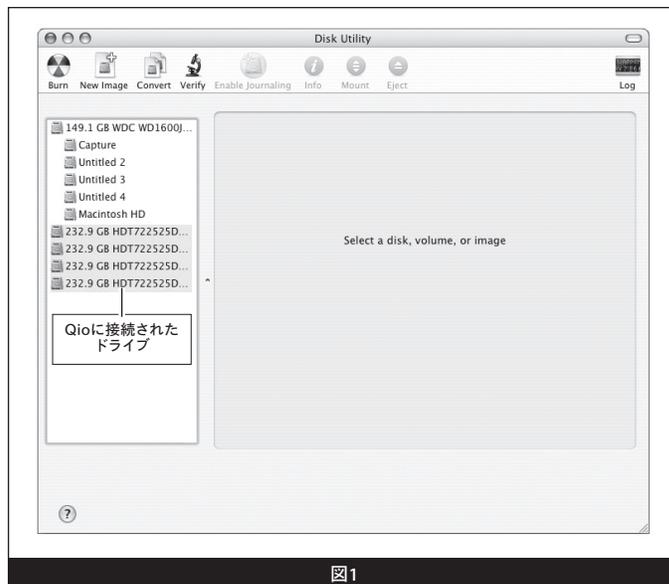


図1

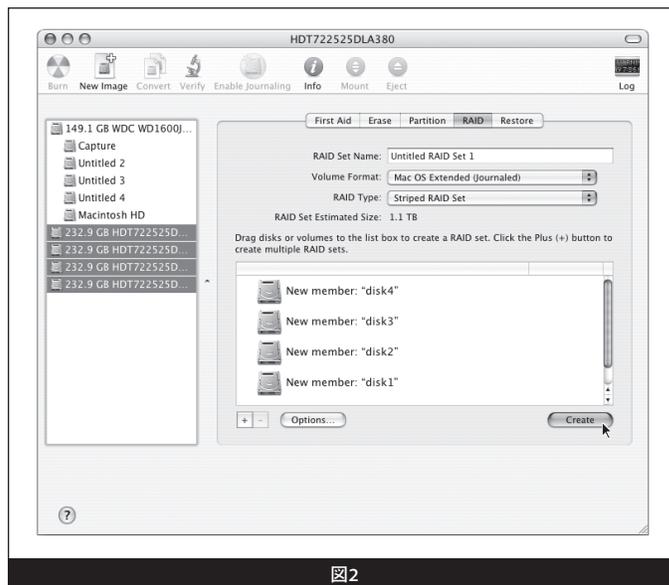


図2

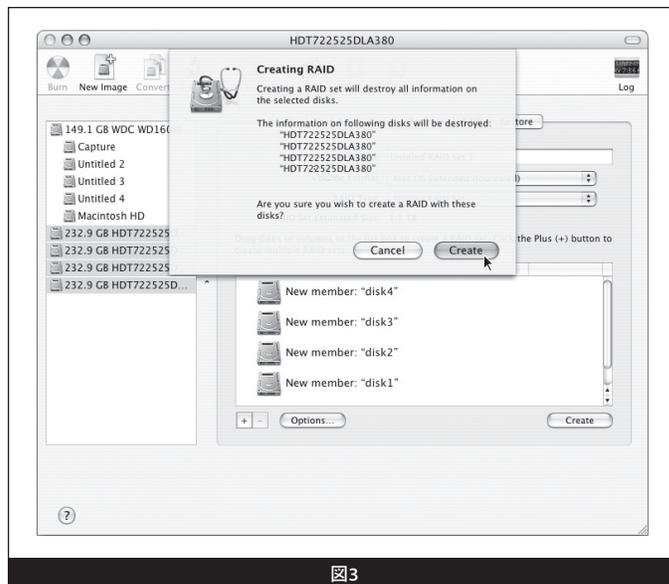


図3

第6章：eSATA経由で接続されたドライブのフォーマット

Mac OS Xでのドライブのフォーマット—個々のドライブとして使う場合 (RAIDセットとして構築しない場合)

この項ではMac OS X Version 10.5において「ディスクユーティリティ」を使いQio筐体のeSATAポートに接続の各ハードドライブをフォーマット（初期化）する手順について説明します。Mac OS X Version 10.6での手順はほぼ同じです。Mac OSでフォーマットしたRAIDセットを構築する場合は、前ページの「Mac OS Xでのドライブのフォーマット—RAIDセットを構築する場合」に戻ってください。

1. コンピュータを起動します。起動途中のスクリーンに、読み取れないディスクがあるという内容のメッセージウィンドウが表示されます。「初期化...」をクリックするとディスクユーティリティが起動します。ディスクユーティリティの起動後、残りのメッセージウィンドウの「初期化」ボタンをそれぞれクリックしてください。
2. ディスクユーティリティが起動していない場合は起動してください（図4）。フォーマット済みかどうかに関わらず接続されている全てのドライブがウィンドウに表示されます。
3. フォーマットしたいドライブアイコンもしくはドライブ名をクリックして選択してください（図5）。ドライブの容量や接続のタイプ、接続IDはウィンドウ下部に表示されます。
4. 「パーティション」ボタンをクリックします（図5）。「ボリュームの方式：」の下にあるプルダウンメニューをクリックし、分割するパーティションの数を選択してください。用途に応じてそれぞれのドライブをパーティション分割して複数の「仮想」ドライブを作成することも出来ます。
5. パーティションをクリックしてハイライトし、ボリューム情報の「名前」のフィールドにそのパーティション名を入力します（図5）。同様に各パーティションに名前を付けてください。フォーマットが完了後、各パーティションはドライブとして「Finder」上に表示されます*。
6. 「パーティションを作成」ボタンをクリックします（図5）。
7. 「ディスクにパーティションを作成」旨のウィンドウが表示されたら「パーティション」ボタンをクリックします（図6）。必要に応じて、Qioに接続するその他のドライブについて手順3から6を繰り返してください。パーティション分割とフォーマットが完了したら「ディスクユーティリティ」を終了してください。これでドライブを使えるようになります。

* Finder環境設定でデスクトップにハードディスクを表示しないように設定している場合は、新しいドライブのフォーマット後にデスクトップ上には表示されません。

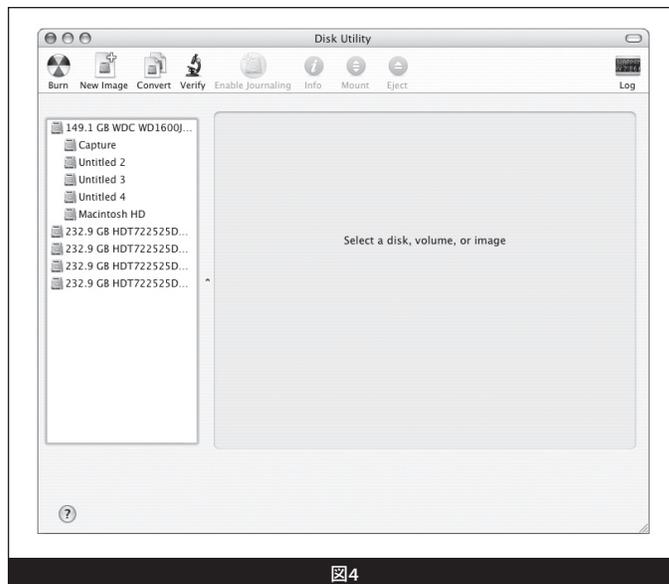


図4

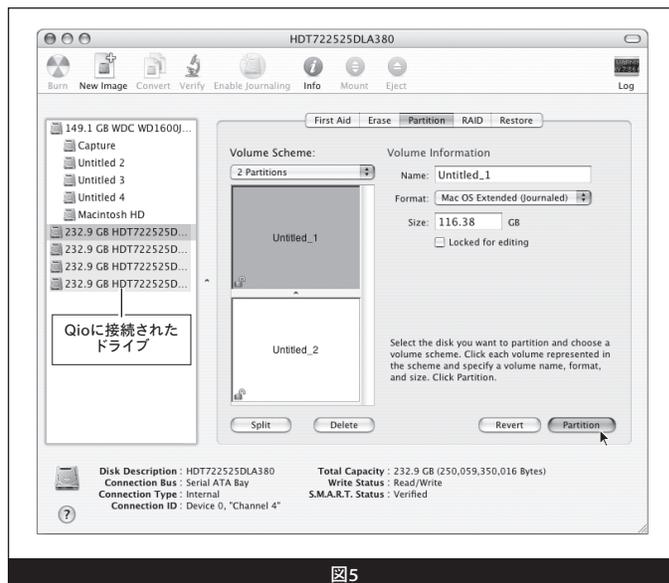


図5

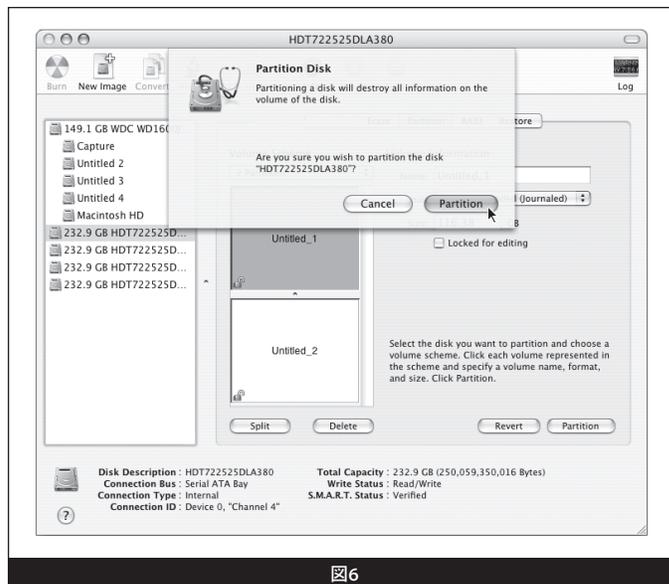


図6

第7章：役立つ情報と既知の問題

役立つ情報

ホットプラグ対応カード製品

Qio筐体からホットスワップ、ホットスワップ機能を使ってメモリーカードを装着、取り外しが行えますが、適切な手順でボリュームをイジェクト（解除）しない場合は、カード上のデータの損失やコンピュータの予期せぬ動作を引き起こす原因となります。コンピュータがスリープ中にQio筐体へカード製品を挿入／装着しないでください。

Qio筐体のホットプラグ機能

Qio筐体のホットプラグ機能は未対応です。電源とQio筐体は接続されていて、かつQioはアダプタカードが本書4、5頁にわたり記載された手順に則っている必要があります。コンピュータの起動時点において、Qioにメモリーカードおよびアダプタカードは挿入済みである場合があります。

FinderメニューからのPower Off Cardの選択について

Finderメニューから「Power Off Card」を選択しないでください。

Qioに接続されたドライブはSCSI Devicesと認識されます

Qio筐体のeSATAポートに接続されたドライブは、実際のインターフェースの種類に依らず、ディスクユーティリティ内においてSCSIドライブとして認識されます。この表記はドライブ性能上、一般的です。

メモリーカードのフォーマット

最大限の互換性能を得るには、ご使用のカメラ製品内で、メモリーカードのフォーマットを行います。稀にQioにてフォーマットされたカードが認識されず、カメラに読み込まれる際に再フォーマットが必要となる場合があります。

デバイスドライバ

アダプタカードの使用時、フル性能で機能させるために、追加ドライバが必要となる場合があります。ソフトウェアはデバイスに付属、もしくは、製造元メーカーのウェブサイトにてダウンロードで利用可能です。必要なソフトウェア情報については該当の周辺機器のユーザーマニュアルを確認してください。

アダプタカードへ接続されたデバイスへの電源

Qio筐体に接続されたアダプタカードから直接電源供給を受ける周辺機器が殆どですが、中にはQioが供給する以上の電源が必要なデバイス機器においては、外部電源が必要となる場合があります。必要に応じて外付けで電源供給を行ってください。

既知の問題

Qio筐体へホットプラグで接続時、ExpressCardアダプタが正しく認識されないことがあります

FireWire、FireWire/USBコンボカードはコンピュータが電源ON状態で装着しても機能しません。コンピュータ起動前にQio筐体に装着（挿入）したカード製品はコンピュータの起動後問題なく動作します。

スリープ状態からの解除時、起動に時間がかかることがあります

ストレージデバイスがQio筐体のアダプタカード内に挿入されている時、コンピュータがスリープ状態の解除（起動）するのに、まれに数分かかることがあります。Sonnetは、今後のソフトウェアのアップデートでこの問題が解決されるよう努めています。

ソフトウェアインストール後の最初の起動時に時間がかかります

ドライバをインストールし、アダプタを装着して、Qio筐体へ接続した後に、初めてコンピュータの電源を入れますが、この起動時（デスクトップが表示され、OSが使用可能な状態になるまでの間）に、ブレースクリーンの画面が止まった状態で非常に長時間（4～6分程度）の待ち時間が発生することがあります。この後、デスクトップが表示されOSが使用可能な状態になります。この現象はアダプタカードをインストール後の最初の起動時のみに起こります。これ以降の起動時において、この一時停止の現象は発生しません。

第8章：技術情報、安全上の注意、FCC準拠、製品保証とサポート情報

技術情報

外付けコネクタ (Qio筐体)	CompactFlash 2基 アダプタカード(P2) 2基 ExpressCard/34 (SxS) 2基 eSATA 4基 外付けPCIe x1 - 18 電源3基: 12VDC@3A入力 (最大 20VDC, rev. d以降) 1基、12VDC 0.5A出力 2基
外付けコネクタ (アダプタカード)	外付けPCIe x1 - 18
データ転送スピード	集合値で最大200 MB/秒
バスインターフェース	PCI Express x1
CompactFlashスロット対応メディア	Type I CompactFlash
CardBusスロット対応メディア	P2, P2 E-series
ExpressCard/34スロット対応メディア	SxS, SxS Proに対応。別売のアダプタ併用時は、加えてSD、SDHC、SDXC、Memory Stick、MMC、xD-Picture Cardに対応
対応ドライブ数	最大16台*
対応ドライブの種類	シリアルATA I & II
ファームウェア	Flash-ROMにより最新のファームウェアのバージョンへアップグレード可能
起動ディスクのブート	未対応
寸法(Qio筐体)	WxDxH:14.9 x 15.7 x 3 cm
重量(Qio筐体)	0.5 kg
RoHS準拠	準拠しています

* 最大16台のサポートにはハードウェアRAIDコントローラ搭載のドライブ筐体 (ソネットのFusion QR) の使用が必要です。

安全上の注意事項

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決して筐体の分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- 筐体やアダプタを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。

警告 (続き)

- 筐体内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

FCC 準拠

Express Bus Extender PCIe, PCIe Bus Extender ExpressCard/34, Qioは、FCC規制パート15に準拠しています。この機器は次の要件2点を満たした上で稼働します。この機器は有害な電波干渉を引き起こさないこと、且つ、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れること。

製品保証とカスタマーサービスへのお問い合わせ

ソネットテクノロジーズ社は本製品の最初の購入日より5年間、製品上、材質上の欠陥が無いことを保証とします。製品保証に関する全ての情報は、www.sonnettech.com/support/warranty.html をご覧ください。

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新のアップデート、オンラインでサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。

Contacting Sonnet Customer Service

For USA Customers

The Sonnet Web site located at www.sonnettech.com has the most current support information and technical updates. Before you call Customer Service, please check our Web site for the latest updates and online support files, and check this User's Guide for helpful information. When you call Customer Service, have the following information available so our customer service staff can better assist you.

For the most current product information and online support files, visit the Sonnet Web site at "www.sonnettech.com/support/". Register your product online at "<http://registration.sonnettech.com>" to be informed of future upgrades and product releases.

- Product name
- Date and place of purchase
- Computer model
- PCIe card models
- Operating system version
- Software/firmware versions

If further assistance is needed, please contact **Sonnet Customer Service** at:

Tel: 1-949-472-2772

(Monday-Friday, 7 a.m.-4 p.m. Pacific Time)

E-mail: support@sonnettech.com

このページは空白にしています



Sonnet Technologies, Inc., California USA • Tel: 1-949-587-3500 Fax: 1-949-457-6349 • www.sonnettech.com/jp

©2014 Sonnet Technologies, Inc. All rights reserved. SonnetおよびSonnetのロゴ、Simply FastおよびSimply Fastのロゴ、Fusion、Tempo、QioはSonnet Technologies, Inc.の登録商標です。 FireWire、Mac、Macのロゴ、Mac OS、MacBookは、米国内または他国におけるApple Inc.の登録商標です。 Memory Stick、SxSはソニー株式会社の登録商標です。 ThunderboltおよびThunderboltロゴは、米国内または他国におけるIntel Corporationの登録商標です。 その他の商標については当該各社が所有権を有します。 製品に関する情報は予告なしに変更されることがあります。 Printed in the U.S.A. UG-QIO-J-K-110514